

LESSON 1
INTRODUCTION
わたしは バードです。

ねらいと学習事項

【コミュニケーションの到達目標】

- 人々と知り合う
 - 初対面のあいさつ
 - 自分の名前・国籍を言ったり、相手に聞いたりする。
 - 人の間柄(先生、生徒、友達)について言う。

【KEY SENTENCES】

- 1 わたしは バードです。
- 2 わたしは せんせいではありません。
- 3 バードくんは アメリカ人ですか。
- 4 わたしは たなかせんせいの せいとです。

【言語学習項目】

文型：Nは Nです。(名詞文) * N=名詞

Nは Nではありません。

Nですか。 — はい、Nです。

— いいえ、Nではありません。

Nですか、Nですか。 — Nです。

NのN(人の間柄を表す)

語彙：名前、国籍「～じん」、助詞「は」(topic marker)、

「か」(question marker)、「の」(人の間柄)、数(0～10) 他

表現：「はじめまして」「どうぞ よろしく」(初対面のあいさつ)



【日本と世界の文化・情報】

- 日本人の名前
- 世界の国々・人々
- おじぎの習慣

内容と解説

EXERCISES I

Student Book 2ページのイラストを使って練習

1. a. ex. バード ① バード ② かとう ③ きむら ④ たなか
 b. ex. マイク ① ナンシー ② けん ③ さちこ ④ けいこ
 c. ex. マイク バード ① ナンシー バード ② かとう けん ③ きむら さちこ ④ たなか けいこ

◆主な登場人物の名前が挙げられています。日本に留学してきた主人公のアメリカ人中学生、そのクラスメートの日本人の男の子、女の子、担任の先生と、それぞれの名前を紹介します。

2. a. ex. バードくんです。 ① バードさん ② かとうくん ③ きむらさん ④ たなかせんせい
 b. ex. マイクくんです。 ① ナンシーさん ② けんくん ③ さちこさん ④ けいこさん
 c. ex. マイク バードくんです。
 ①ナンシー バードさん ②かとう けんくん ③きむら さちこさん ④ たなか けいこせんせい

◆「～さん」「～くん」「～せんせい」などの敬称を学びます。

◆ひとりひとりの登場人物のイラストを見せながら、みんなに紹介するようにして、敬称をつけて、「バードくんです」「きむらさんです」「たなかせんせいです」のように発話していきます。

◆同様に敬称をつけて、友達や先生を、みんなに紹介する練習をします。教室にいない友達や先生の写真を見せて、紹介すると、より実際的な練習になります。相手にふさわしい適切な敬称を選んで使います。

⇒ 日本と世界の文化・情報 L 1 【1】 日本人の名前

EXERCISES II

Student Book 2～3ページのイラストを使って練習

1. ex. にほん ①カナダ ②アメリカ ③ブラジル ④インド ⑤オーストラリア ⑥ちゅうごく ⑦イギリス

◆世界地図のイラスト上の各国の旗を指しながら、まず国名を導入します。日本式の発音を練習しながら、英語と日本語の音韻体系の違いを体得させます。特に「オーストラリア」など長い国名を初めからきれいに発音するのは難しく、「イギリス」「ドイツ」「スイス」など、英語の呼び方とかなりちがうものもあるので、よくリピート、口慣らしをします。

⇒ 楽しく学べるアイディア集 L 1 【1】 旗揚げ 【2】 国名ビンゴ

⇒ 日本と世界の文化・情報 L 1 【2】 世界の国々・人々

2. ex. にほんじん ①カナダじん ②アメリカじん ③ブラジルじん ④インドじん ⑤オーストラリアじん
 ⑥ちゅうごくじん ⑦イギリスじん

◆人物とその背景にある各国の代表的な名所や事物を手がかりに、国籍の言い方を学びます。人物のイラストを指しながら、「にほんじん」「カナダじん」といくつか例を示し、生徒が1. で覚えた国名のあとに「じん」をつけるルールを発見し、自分でつくれるようになるまで練習します。

⇒ 楽しく学べるアイディア集 L 1 【3】 国籍ビンゴ

3. ex. にほんじんです。

- ①カナダじん ②アメリカじん ③ブラジルじん ④インドじん ⑤オーストラリアじん
⑥ちゅうごくじん ⑦イギリスじん

◆再び「～です」の文型で、国籍を練習していきます。(注 この段階ではまだ、topic marker の「は」を導入していませんので、イラストも特定の登場人物を避けています。)

◆世界の有名人の写真を用意して、国籍を言わせるなどしても楽しいです。

4. ex. A : にほんじんですか。 B : はい、にほんじんです。

- ①カナダじん ②アメリカじん ③ブラジルじん ④インドじん ⑤オーストラリアじん
⑥ちゅうごくじん ⑦イギリスじん

◆ここで、初めて日本語の質問と答えの形を学びます。クエスチョンマークを用意し、「にほんじんですか」と発話しながら、この形が質問であることを示します。テキストのイラストをご覧ください。この練習では、肯定の答えが出る質問だけを並べています。「はい、にほんじんです」という答え方を導入します。生徒は「はい」がYESの返事だと気づきます。いくつも例示し、文末に助詞「か」をつけると疑問文になるというルールを生徒自身が発見できるよう、指導します。

EXERCISES III

Student Book 4ページのイラストを使って練習

ex. A : ちゅうごくじんですか、にほんじんですか。 B : にほんじんです。

- ①A : イギリスじん、カナダじん B : イギリスじん ②A : にほんじん、インドじん B : アメリカじん
③A : オーストラリアじん、イギリスじん B : オーストラリアじん ④A : にほんじん、カナダじん B : カナダじん
⑤A : アメリカじん、カナダじん B : アメリカじん ⑥A : オーストラリアじん、ちゅうごくじん B : オーストラリアじん
⑦A : カナダじん、ブラジルじん B : ブラジルじん

◆続いて、否定の答えの練習に移りたいとお考えの先生もいらっしゃると思いますが、それは少し待って、ここで、「ちゅうごくじんですか、にほんじんですか」という選択疑問文を導入します。英語とは構文がちがいが、ふつうの疑問文を並列する言い方に気づかせます。答えるとき、「はい」をつけてしまう生徒がいたら、EXERCISES II の 4. とはちがいが、「はい」をつけないことに注意させます。

EXERCISES IV

Student Book 5ページのイラストを使って練習

1. ex. A : ちゅうごくじんですか。 B : いいえ、ちゅうごくじんではありません。

- ①インドじん ②にほんじん ③イギリスじん ④アメリカじん ⑤ブラジルじん ⑥オーストラリアじん
⑦カナダじん

◆イラストを見ながら、生徒が「ちゅうごくじんですか」という質問を聞いて、否定の答えはどう言うのだろうかという意識をもって聞いているところに、「いいえ、ちゅうごくじんではありません」という文型を導入します。

◆「いいえ、N1 ではありません。N2 です」という答え方を練習します。

EXERCISES V

Student Book 6ページのイラストを使って練習

1. ex. せんせい ① せいと ② ともだち2. ex. a. たなかせんせいは バードくんの せんせいです。b. バードくんは たなかせんせいの せいとです。

① a. バードくん、かとうくんの ともだち b. かとうくん、バードくんの ともだち

② a. たなかせんせい、かとうくんの せんせい b. かとうくん、たなかせんせいの せいと

◆人の間柄を示す「の」の練習です。イラストをご覧ください。丸囲みで焦点があたっている人物が主題となります。

「せんせいの バードくん」「せいとの たなかせんせい」のような誤りが出るものがしばしばありますので、語順をよく練習してください。

MAIN DIALOGUE

会話本文は Student Book 9ページ/10ページのイラストを使って練習

◆東京中学校にはじめてやってきたバード君を、校長先生が担任の田中先生に紹介する場面です。MAIN DIALOGUEの冒頭の英文は、会話の場面を生徒に理解させるためのものです。

◆「はじめまして」「どうぞよろしく」というあいさつを導入します。日本語のリズムに慣れるためにも口慣らしを十分にしてください。意味理解に媒介語を用いる場合は、先生が英文を読み上げることはせず、見せるだけにすると、日本語学習の流れが途切れません。

◆テキストのモデル会話を終了したら、今度は生徒自身の状況に合わせて、ロールプレイをしていきます。握手のかわりにおじぎをする日本の習慣を紹介し、おじぎとはどんなものか実際にしてみながら、会話練習をします。初対面のあいさつ、自己紹介、他の人の紹介が、個人間でも、おおぜいの人の前でもできるようにします。

⇒ [日本と世界の文化・情報 L 1 【3】おじぎの習慣](#)

◆スマイルマークは会話の要約文です。少しずつですが構文力を養い、書き言葉への基礎をつくります。

SHORT DIALOGUES

会話本文は Student Book 10ページ

◆テキストのモデル会話を聞かせたり、読ませたりして、内容を確認した後、役割を決めて、発話練習をします。

- ◆同様に、生徒自身のことを話してみます。職業名をたくさん出すと負担になるので、「かいしやいん」か、そうではないかだけを聞く程度でいいのですが、生徒が興味を持ったら、各自、自分の親の職業名だけは言えるようにするとよいでしょう。おとうさんだけではなく、「おかあさん」を加えてQAをするのもいいでしょう。
- ◆スターやスポーツ選手、各国の大統領、首相など、みんなが知っている人物の写真、また、友達や先生の写真を使って、同様の会話をすると、練習量が増えます。国名は既習のものを中心とし、必要なものは補足します。

NUMBERS From 0 to 10

Student Book 9ページ

0（ゼロ、れい）、4（よん、し）、7（なな、しち）、9（きゅう、く）には二通りの言い方があることも紹介します。

板書したり、カードを見せたりして教えます。

⇒ [楽しく学べるアイデア集 L 1 【4】クラッピングゲーム](#)

QUIZ

Student Book テキスト11～14ページ

読み書きにより言語学習項目の知識を確認します。宿題や小テストにして、フィードバックします。

楽しく学べるアイディア集

【1】旗揚げ

⇔ EXERCISES II - 1

A 語彙を覚えるとともに、日本語の発音を聞き取るための練習

- ① 教科書に出てくる国の国旗を作り、生徒に持たせる。
- ② 教師が「カナダ」「アメリカ」「ブラジル」「インド」「イギリス」など国名を言い、手に持つ旗を揚げるように指示する。

B 発音の練習

- ① 教師が各国の国旗を持ち、かわるがわる揚げる。
- ② 生徒にどこの国が言わせる。

【2】国名ビンゴ

⇔ EXERCISES II - 1

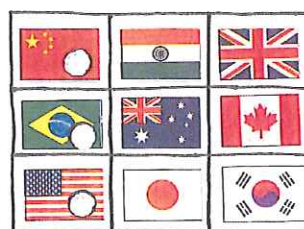
A 聞く練習

- ① 9つの枠のビンゴ板を作り、国旗を貼ったものを生徒の人数分用意する(教科書で覚えた国名に、生徒の国や他の国を一つ足して9つにする)。あるいは、生徒に作らせる。
- ② 教師が国名を言い、生徒はチップ(おはじき)をその国の国旗の上に置く。
- ③ 縦、横、斜めいずれでも、一線におはじきがそろえば「ビンゴ！」あるいは「できた！」「できました！」と言う。

* 縦でも横でも斜めでも早くそろった者が勝ちとなる。

B 書く/読む練習 (仮名文字既習の場合)

- ① 9つの枠の中に国名を書いたものを生徒の人数分用意する。(* 中国、韓国の場合は、ひらがなで書く) あるいは、教師が板書した9つの国名を見ながら、生徒が好きな枠にその国名を書く。
- ② 教師が国旗を示し、生徒はチップをその国の表記の上に置く。
- ③ 縦、横、斜めにおはじきが揃えば「ビンゴ！」あるいは「できた！」「できました！」と言う。



【3】国籍ビンゴ

⇔ EXERCISES II - 2

A 聞く練習

- ① 9つの枠のビンゴ板を作り、国旗とともに民族衣装を着た人の絵を貼る。
(教科書で覚えた国名に、生徒の国や他の国を一つ足して9つにする)
- ② 教師が「～じん」と言い、生徒はチップ(おはじき)をその国の国旗と人形の上に置く。
- ③ 縦、横、斜めいずれでも、一線におはじきがそろえば「ビンゴ！」「できた！」と言う。

B 書く/読む練習

- ①9つの枠の中に国籍を書く。(例:ブラジルじん)
- ②教師が国旗と人形を示し、生徒はおはじきをその国籍の表記の上に置く。
- ③縦、横、斜めいずれでも、一線上におはじきがそろえば「ビンゴ!」「できた!」と言う。

【4】クラッピングゲーム

⇔ NUMBERS From 0 to 10

- 1) クラスを数人ずつのグループに分ける。
- 2) グループごとに、0から順に各生徒の番号を決めさせる。
- 3) まず初めに一人の生徒が自分の番号を言って、次に任意の番号を言う。自分の番号を言われた生徒は同じように自分の番号、次に任意の番号を言う。以上のことを2拍子の拍手でリズムをとりながら繰り返す。
例:(拍手)(拍手)0、2(拍手)(拍手)2、8(拍手)(拍手)8、5...
- 4) 自分の番に回ってきても言えなかった生徒、リズムからはずれた生徒は順次失格していく。失格でいなくなった生徒の番号を言ってしまった生徒も失格とする。
- 5) 最後に競技者が二人になったところでゲーム終了。(これは、例えば五人抜けたところでゲーム終了、と決めておいてもよい。)

日本と世界の文化・情報**【1】日本人の名前**

- 日本人の名前は、英語圏の名前とは違っています。family name を先に、given name を後に言います。また、一般的には、middle name がありません。小学校に入ると、教室など公の場では、教師が生徒を呼ぶときも、また、生徒同士でも、「加藤くん」「木村さん」のようにfamily nameが使われますが、そのような慣習についても練習を通して学びます。
- L1では日本人の名前は「かとう」などひらがなで、外国人の名前は「バード」などかたかなで書かれています。日本語には英語と違って複数の文字体系がある点を理解させ、文字にも関心を持たせます。（*「かとう」など漢字で書かれるものも、生徒がまだ漢字を習っていないこの段階では、ひらがなで表記しています。）
- 「マイク バード」「ナンシー バード」のように、外国人の名前は、日本語の音に当てはめて発音されます。外国語と日本語の音とリズムを生徒に実感させます。日本式に発音された外国人の名前を聞き取れるようにします。

【2】世界の国々・人々

日本語を習いはじめたばかりの生徒は、L1のレベルでは単純な名詞文を覚えただけで、まだ、複雑な内容を語ることはできません。しかし、同時に、10代の生徒はさまざまな知識を求めています。日本語の学習と日本文化や日本事情、世界のさまざまな事柄への関心を大切にして、学習意欲を高めます。

世界の国々

- 国名を聞かせて、クイズのように当てさせながら、紹介していても楽しいでしょう。練習用にランダムに見せられるよう、各国の旗のカードを用意しておくとう便利です。
- 日本はどこに位置するのか、自分の国からどのくらい離れているのか、国土の広さはどのくらいか、テキストの地図上で確認します。地球儀も用意できると、なお興味深いでしょう。
- 国名を学習したら、人口、面積などから、どの国かを当てさせるクイズも、中学生に向きます。桁の多い数の日本語での読み方を学習していない段階ですので、人口や面積はカードや表に書いて見せるだけで、生徒に「にほんです」「カナダです」のような発話をさせます。

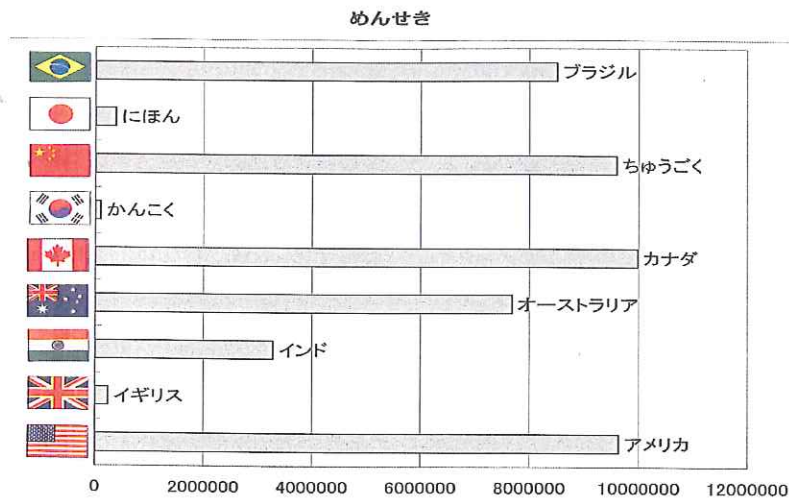
例) T(例えば、面積を記したカードを見せて、どの国が当てさせる)

S: にほんです。 T: はい、にほんです。

S: ちゅうごくです。 T: いいえ、ちゅうごくじんではありません。

S: ……カナダです。 T: はい、カナダです。

また、下記のようなグラフにまとめることもできます。



世界の人々

■民族衣装を着た人々のイラスト、また、その背景におかれた旗、名所旧跡などのイラストや写真を見て、「～じんです」という答え方で、国籍を当てるクイズができます。

例) T(クイズカードを見せる)

S: にほんじんです。 T: はい、にほんじんです。

S: ちゅうごくじんです。 T: いいえ、ちゅうごくじんではありません。

S: ……インドじんです。 T: はい、インドじんです。



⇒ 付録「世界の事典」(国旗・名所など) 参照

【3】おじぎの習慣

■日本の一般的なあいさつは「おじぎ」です。初対面のあいさつや自己紹介の場面で、日本語の表現とともに、上体を前に傾けて頭を下げるおじぎの仕方をご紹介します。

■世界のあいさつの身振りはさまざまです。生徒自身の国やその他のいろいろな国のあいさつについても、調べてみます。